

会報

No. 1

1983.6発行

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内

TEL (075) 771-0069

会報発行のごあいさつ

会長 澤田 種治

図書館活動が全国水準を大きく下回っていた京都府内の図書館も、京都市中央図書館の新設、それに続く地域図書館の整備のほか、精華町、城陽市の図書館設置、園部町、峰山町、亀岡市の図書館新築、八幡市の図書館開設等により、それぞれの地域で活発な図書館奉仕が展開されはじめ、その成果が住民に評価されつつあります。この時にあたり、京都府図書館等連絡協議会では広報活動を積極的に推進し、地域の図書館活動の振興をはかるため、新しく「会報」を発行することになりました。

協議会は京都府内の図書館、図書館的な機能を併置する施設および縁機関が、京都府における図書館事業などの振興および相互間の協力をはかることを目的に昭和五十一年に発足いたしました。当初、加盟館二二館その施設に従事する職員一八八人のこの会も、七年間の活動で三五館二七一人に成長して参りました。

図書館活動が全国水準を大きく下回っていた京都府内の自治体関係者に、公共図書館振興に関する要望書を毎年提出し、図書館空白地域の解消に努めております。さらに昭和五八年度からは活動を強化させるため、これまで事務局を中心に事業をすすめていたもののうち、研修研究事業と相互協力事業については専門委員会制度を設け、この委員には現場で活躍している職員の皆さんに就任していただき、事業推進に参画してもらうことになりました。

急激に変化する社会において、人々は生活の向上を願い、知識・情報や教養・娯楽を求め、気軽に利用できる施設として図書館に寄せる期待が高まっております。協議会ではこの機会をとらえ京都の図書館事業振興のため、さらに事業を拡大して、より充実した組織にいたしたく思っております。これからの課題は多くありますが、その解決に向けてあせらず、着実に一歩ずつ前進させたいと考えておりますので、あたたかいご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。会報発行のごあいさついたします。

前副会長 森 行夫氏からのお手紙

十一月の感激

駐車場に吸い殻一つ無い清浄な感激から、亀岡市立図書館長の第一歩は、昨年五月に始まった。

花を生け、街の先覚者心に打つ書の揮毫をいただき掲出、新刊書の特別展示、記念日・街・家庭の行事にちなんだ本の展示、小中学校に対する学期ごとの交換配本、郷土人の本収集、特にテレビッ子に一石を投ずべく視・聴に触覚を加えた手づくり布の絵本講習には定数を倍する申し込みがあったこと等々、今更ながら館の提供如何が市民の共感を呼ぶことを知らされる感激の連続であった。

本年三月に最後の責務として、当市図書館振興計画答申のために討議資料を協議会に提出させていただいた。

三六年余の公務員生活最後の年にこの感激をいただく幸せをかみしめ、過去を調べ、今を知り、未来を創造する営みにこそ文化の向上があり、今更ながら図書館振興の重要性を再認識しつつ、御指導いただいた諸兄にあつく御礼申し上げます。併せて京都図書館界の御発展を祈念申し上げます。(前亀岡市立図書館長)

一九八三年度

京都府図書館等連絡協議会

定期総会開催

五月二四日、府立図書館において、総会が開催されました。山本昇京都府教育庁社会教育課長を来賓に迎え、二〇館三〇名の参加のもと、事業計画、予算、会則改正、委員会規程制定など、熱意ある討論が行われ、今年度活動方針を決めました。

事業計画では、職員の研修など従来の事業に加え、新たに、相互協力

事業を設け、相互協力推進のための調基研究、事業を行うことを決めました。その他、「連絡会ニュース」は名称を「会報」に改め、内容を充実させて、協議会の強化・発展に役立てることを決めました。

また、これらの事業を積極的に推進するため、専門委員会の設置を決め、研修研究委員会、相互協力委員会を設けて各事業の推進にあたることになりました。委員会は担当理事を委員長に、各館から推薦された委員若干名で構成します。

会則改正では、前記の委員会の設置の他、顧問制度の新設、山城地区理事の一名増、監事の新設、事務局

体制の明確化など原案どおり了承されました。

総会終了後、今年度図書館等職員の表彰が行われ、その功績が讃えられました。また、京庫連製作のスライド「京都の子ども文庫——本と遊びなかつたたち」を上映し、全日程を終了しました。

◆来賓祝辞

山本府教育庁社教課長

図書館の今日的な重要性については、生涯教育を推進する立場から、また、施設を通じて市町村をお手伝いする立場からも議論をすすめるようとしています。協議会発足の八年前に比べれば大きな変化がありました。京都市・八幡市・亀岡市など市町村の図書館の状況は前進しました。市町村は貸出や読書サービスに、府は広域的・補完的にネットワークづくりにと機能を分担しあうこと、および、公立施設に対する国の補助金がきびしい状況にあることに視点をあてて議論をすすめる必要があります。



役員等は左記のとおりです。

会長

澤田 種治

副会長

(八幡市立八幡市民図書館)
八島 正

理事

(亀岡市立図書館)
森村 良彦(長岡京市立中央公民館)
石浦 喜八(京北町中央公民館)
橋本 実(福知山市立図書館)
中西 俊夫(宮津市立図書館)
田中 義一(峰山町立図書館)
奥田 茂一

(久御山町中央公民館)

理事

村上 敏明

監事

(京都市中央図書館)
高木多喜男

顧問

(京都府立図書館)
真継 哲男

顧問

(大山崎町教育委員会)
高橋 洋三

顧問

(大江町立図書館)
岡田 勲

顧問

(京都市中央図書館)
浜辺 一彦

研修研究委員会委員長

(京都府立図書館)
橋本 実

相互協力委員会委員長

高木多喜男

事務局長

田口政広

副会長

福知 襄、山本 朝子

。副会長および専門委員会委員長は
総会後の第二回理事会で選出。

昭和五十八年表彰者

数下 徹一 (田辺町立図書館)

田村 博康 (宇治市民図書館)

河村 均 (京都府立図書館)

西垣 英子 ()

木下 淳子 ()

京都市図書館読書友の会

代表者 角野美枝子

(京都市中央図書館)

() 内は推薦館名です。敬称略。

にゅうす・ニュース・News

京都市東山図書館

オープン(83・5・18)

京都市では九番目の東山図書館が京都市東山区清水五丁目「東山合同福祉センター」の二階にオープンしました。東山区の地域図書館として、幼児、小・中学生の図書、成人・お年寄りの日常的な教養図書、読みもの等、当初約一四、〇〇〇冊でスタートし将来三五〇〇〇冊に整備していく予定。

*個人貸出 一人二冊

期間二週間

*団体貸出 一団体一五〇冊

期間三ヶ月以内

*開館時間 AM九時三〇分～

PM四時三〇分まで

*休館日 毎週火曜日・

祝日

*電話 五四一―五四五五

歯と健康ブック展

(6/1～6/8)

木津町立図書館

六月四日の虫歯予防デーを機に本を通じて歯と健康について、ゆっくり考えて

舞鶴市立図書館

郷土資料目録(一九八三)

昨年六月、北部図書館(公民館)長会議において協議されました「相互貸借」における当面の協力として郷土資料目録の交換が申し合われました。そして、このたび舞鶴市立東西両図書館では所蔵の郷土資料を併せて一冊の目録(一、二六九タイトル収録)にして刊行しました。

最近郷土資料を求めて多くの利用者が来館されます。そうした方や、相互貸借において期待されています。

みようと「歯・健康ブック展」を開きました。

虫歯予防について書かれた絵本をはじめ、健康食品から体操・体の仕組みまで、健康と歯に関係した本、約二百冊を展示。そのうち約百冊が現在の蔵書で、二〇冊余を新規購入さらに府立図書館から約八〇冊の貸出しを受けました。連日、利用者が多く、アンケートにもその関心の高さがうかがえました。



府立図書館では、六月一日から、「図書館協力貸出」を発足させました。この制度は地域住民が要求する資料が市町村立図書館にない場合、その図書館のリクエストにもとづいて、府立図書館の資料を貸出そうとするものです。

出版年鑑によると、三版で昨年一年間の出版点数は三万点を

超えますが、情報化社会が進展する中で府民の資料要求は多様化・専門化し、市町村立図書館だけでそれに応えていくことは難しくなっています。このため府立図書館が、市町村立図書館をバックアップすることは、府立

「図書館協力貸出」発足

京都市立図書館

京都市立図書館 閲覧整理課

協力貸出担当

京都市左京区岡崎成勝寺町九

電話〇七五 一七七 一〇〇六九

◇ ◇ ◇

京都府の公共図書館

京都府立図書館発行

このほど京都府立図書館では各市町村図書館・公民館の協力を得て、府内にある公共図書館、公民館図書室および文庫の概況をまとめた「京都府の公共図書館」を発行しました。近年公共図書館に対する利用者の関心、要望が高まる中、公共図書館の振興と発展を図るために役立つ資料として刊行しました。

府下の公共図書館、各市町村教育委員会、公民館、家庭文庫、地域文庫、読書会、高等学校などに配付されました。

▲府立総合資料館に 府行政情報資料センター開設

五月一八日から、府民に対する行政情報の提供を充実するため、総合資料館の三階を改装して同センターがオープンしました。

公開されるのは、京都府公報や予算・決算書、国・府・市町村の発行した情報資料二八九四冊と明治元年から昭和三〇年までの府庁文書約二万二千冊。行政情報資料は開架式で日曜日も開室。大閲覧室と同じ階なので官公庁出版物や研究書も利用できる利点があります。行政文書担当職員が親切に相談に応じています。

補助額決まる

国の図書館建設補助金

国の図書館建設に対する補助金額が決まりました。一九八三年度は一館当り五、六〇〇万円 三五館分、続額で一九億六千万円となっています。昨年度と比べ一〇・三%減で、例年八〇館にのぼる建設計画がある中で、これからの図書館建設には厳しいものがあります。

全公図「実態調査報告書」

まとまる

全公図（全国公共図書館協議会）は、このほど「公共図書館のサービスマス指標および整備基準」策定のための実態調査報告書をまとめ、各図書館に配付しました。一九八三年度はこれにもとづき、サービスマス基準および整備基準作成に取り組むことになります。

●全公図表彰式

(一九八三年度)

六月二日定期総会にひきつづき表彰式が行われ、前田辺町立図書館長数下徹一氏が表彰されました。図書館発展のため、永年ほんとうに御苦勞様でした。

▲第二国立国会図書館関西

プロジェクトチームの動き

五月一八日、第二回目の会合が開かれ、二つの専門委員会をおくことが決まりました。一つは、第二国立国会図書館にたいする関西のニーズを調べる専門委員、二つは、第二国立国会図書館に近代的技術をどれだけ導入するかを検討する専門委員。現在それぞれの専門委員の人選がすすんでいます。

図書館等職員の

実務研修について

協議会と京都府立図書館共催、京庫連協賛で左記のとおり実務研修会を実施しますので、お繰合せの上御参加ください。

◆洋書・和書の製本技術講習

* 七月六日（水）

午前十時～午後四時

【全国・近畿地区研究集会日程】

▼全国図書館大会（山口） $10/26 \sim 10/28$

▼日図協公共図書館部会研究集会

整理部門―逐刊物の整理―

（香川県） $10/13 \sim 10/14$ 奉仕部門（滋賀県） $9/29 \sim 9/30$

移動図書館分科会―生涯教育と

移動図書館（岩手県） $11/29 \sim 11/30$

▼近公図研究集会

奉仕部門（滋賀県） $9/29 \sim 9/30$ 整理部門（兵庫県） $59 \cdot 2$ 頃

参考事務部門

（神戸市）

移動図書館部門

（和歌山）

（未定）

（未定）

* 京都教育文化センター（一階）

（京大病院前）

* 講師 紀伊国屋製本コーナー

主任 石井力太郎氏

* 持参するもの

鉄、物差し、目打ち、金槌
刷毛、カッターナイフ、手拭き

* 参加費用

一、七〇〇円（テキスト、材料）

* 参加申し込み

材料準備の都合がありますので、お早めに事務局までお申し込みください。

◆編集後記◆

庭のあじさいも雨にぬれて生き生きとしている季節になりました。さて、従来「京都府図書館等連絡協議会ニュース」を発行していましたが、今年度より新たに「会報」として年三回発行していくことになりました。八年目の第一歩、これからの図書館の振興と発展のために、協議会が少しでも貢献できるよう力を合せて頑張っていきたいと思えます。

本紙に関する御意見、御感想はもとより、職場の情報や図書館資料の紹介等どしどし寄せていただきますようお待ちしております。

なにとぞ今後とも一層の御協力と御指導をお願いいたします。

(事務局)

▶館長の異動◀

京都市中央図書館長 氏 氏
新 旧 岡 藤 辰 次 氏

京都市左京図書館長 氏 氏
新 旧 宮 原 章 行 氏

京都市東山図書館長 氏 氏
新 旧 土 田 羊 一 氏

長岡京市中央公民館長 氏 氏
新 旧 森 村 良 彦 氏
福 富 和 夫 氏

田辺町立図書館長 氏 氏
新 旧 栗 野 徹 一 氏
薮 下 徹 一 氏

亀岡市立図書館長 氏 氏
新 旧 八 島 正 夫 氏
森 行 夫 氏

綾部市立図書館長 氏 氏
新 旧 牧 野 英 男 氏
福 山 義 忠 氏